

# フィンランド語文法：入門⑮

## 所有文・存在文・結果文

『フィンランド語との対話—吉田欣吾』

<https://yoshidakingo.com/>



# 所有文（1）

- 「（誰それ）は...をもっている」「（誰それ）には...がある」という意味を表す文を「所有文」と呼ぶ。
- フィンランド語では、日本語の「もつ」に相当する動詞を使わない。そのため、必ず「～には...がある」という表現をする。
- 「私には」「あなたには」・・・に当たる形は接格（-lla / -llä）。



# 所有文（2）

- **Liisalla on kännykkä.** 「Liisaは携帯をもっている。」
  - ① Liisa（女性名）の接格が「Liisaには」を表す。
  - ② その次に必ず on 「ある」という動詞が来る。
  - ③ 最後に kännykkä 「携帯電話」が来ている。

直訳すれば「Liisaには／ある／携帯が」  
⇒ 「Liisaは携帯をもっている。」



# 人称代名詞とkukaの接格

## ●人称代名詞の接格

minä > minulla

sinä > sinulla

hän > hänellä

me > meillä

te > teillä

he > heillä

## ●kuka「誰」の接格

kuka > kenellä



# 所有文の例

**Minulla on veli.** 私には兄／弟がいる。

**Onko sinulla sisko?** 君には姉／妹がいるか。

**Hänellä on uusi pyörä.** 彼女は新しい自転車をもっている。

**Meillä on lintu.** 私たちは鳥を飼っている。

**Onko teillä sauna?** あなたたちの家にはサウナはあるか。

**Heillä on vanha auto.** 彼らは古い自動車をもっている。

**Kenellä on sanakirja?** 誰が辞書をもっているのか。



# 所有文一練習

● ( ) 内の語を使って作文する。

「私にはよい友人がいる」 (minä, hyvä kaveri)

「あなたは夏休みがあるのか」 (sinä, kesäloma)

「誰が黄色い自動車をもっているのか」 (kuka, keltainen auto)

「彼女には新しいボーイフレンドがいる」 (hän, uusi poikaystävä)

「私たちには古い住まいがある」 (me, vanha asunto)

「君たちのところには冷蔵庫はあるか」 (te, jääkaappi)

「彼らにはすばらしい夏小屋がある」 (he, hieno kesämökki)



# 所有文—練習解答

● ( ) 内の語を使って作文する。

「私にはよい友人がいる」 (Minulla on hyvä kaveri.)

「あなたは夏休みがあるのか」 (Onko sinulla kesäloma?)

「誰が黄色い自動車をもっているのか」 (Kenellä on keltainen auto?)

「彼女には新しいボーイフレンドがいる」 (Hänellä on uusi poikaystävä.)

「私たちには古い住まいがある」 (Meillä on vanha asunto.)

「君たちのところには冷蔵庫はあるか」 (Onko teillä jääkaappi?)

「彼らにはすばらしい夏小屋がある」 (Heillä on hieno kesämökki.)



# 所有文の否定形

● Liisalla **ei ole** kännykkää. 「Liisaは携帯をもっていない。」

- ① 所有文の否定では on 「ある」 を否定形の ei ole 「ない」 に変える。
- ② 否定では最後にくる名詞が分格 kännykkää になるのが原則。





# 所有文の形をした慣用表現

- 所有文の形をした慣用表現が多くある。

Minulla on nälkä.

私は空腹だ。

Sinulla on jano.

あなたは喉が渴いている。

Hänellä on kiire.

彼女は忙しい／急いでいる。

Onko sinulla kylmä?

あなたは寒いか。

- これらの表現が否定になっても、最後の語は分格にならない。

Minulla ei ole **nälkä**.

私は空腹ではない。



# 所有文の否定形—練習

Kenellä on tietokone? 誰がコンピュータをもっているのか。

Minulla on televisio. 私はテレビをもっている。

Onko sinulla poikaystävä? あなたはボーイフレンドがいるのか。

Hänellä on tyttöystävä. 彼にはガールフレンドがいる。

Minulla on nälkä. 私はお腹がすいている。

Onko sinulla jano? あなたは喉が渴いているのか。

Meillä on kiire. 私たちは忙しい。



# 所有文の否定形—練習解答

Kenellä ei ole **tietokonetta**? 誰がコンピュータをもっていないのか。

Minulla ei ole **televisiota**. 私はテレビをもっていない。

Eikö sinulla ole **poikaystävää**? あなたはボーイフレンドがいないのか。

Hänellä ei ole **tyttöystävää**. 彼にはガールフレンドがいない。

Minulla ei ole nälkä. 私はお腹がすいていない。

Eikö sinulla ole jano? あなたは喉が渴いていないのか。

Meillä ei ole kiire. 私たちは忙しくない。



# 存在文（1）

- 「（どこそこ）に...がある／いる」という意味を表す文を「存在文」と呼ぶ。
- 存在文は所有文と基本的には同じ。
- 文の最初に場所を表す語が来て、それ以外は所有文と同じ。



# 存在文（2）

● **Talossa on sauna.** 「家の中にはサウナがある。」

**Lattialla on kissa.** 「床の上にはネコがいる。」

①文の最初に場所を表す語（talossa 「家の中に」、lattialla 「床の上に」）が来る。

②その次に on 「ある／いる」という動詞が来る。

③最後に存在するもの（あるもの）が来る。



# 存在文の否定形

- Talossa **ei ole** sauna**a**. 「家の中にはサウナがない。」  
Lattialla **ei ole** kissa**a**. 「床の上にはネコがない。」

- ① 存在文の否定では on 「ある／いる」 を否定形の ei ole 「ない」 に変える。
- ② 否定では最後にくる名詞が分格 sauna**a**, kissa**a** になるのが原則。



# 存在文—練習

- ( ) 内の語を適切な形に直す。

(Kylä) on kirkko. 村には教会がある。

(Asema) on kahvila. 駅には喫茶店がある。

(Suomi) on presidentti. フィンランドには大統領がいる。

(Tori) on juhla. 市場ではお祭りがある。

Japanissa ei ole (presidentti). 日本には大統領はいない。

Huoneessa ei ole (suihku). その部屋にはシャワーはない。

Tiellä ei ole (liikenne). 道には行き来がない。



# 存在文—練習解答

- ( ) 内の語を適切な形に直す。

(**Kylässä**) on kirkko. 村には教会がある。

(**Asemalla**) on kahvila. 駅には喫茶店がある。

(**Suomessa**) on presidentti. フィンランドには大統領がいる。

(**Torilla**) on juhla. 市場ではお祭りがある。

Japanissa ei ole (**presidenttiä**). 日本には大統領はいない。

Huoneessa ei ole (**suihkua**). その部屋にはシャワーはない。

Tiellä ei ole (**liikennettä**). 道には行き来がない。





# 結果文（1）

- 「（誰それ）は...になる」という意味を表す文を「結果文」と呼ぶ。
- 結果文では「（誰それ）から...が来る」という表現をする。
- 「（誰それ）から」は出格（-sta/-stä）で表す。
- 「来る」は動詞 tulla。



# 結果文（2）

- Liisasta tulee laulaja. 「Liisaは歌手になる。」
  - ① Liisa（女性名）の出格が「Liisaから」を表す。
  - ② その次に tulee 「来る」という動詞が来る。
  - ③ 最後に laulaja 「歌手」が来ている。

直訳すれば「Liisaから／来る／歌手が」  
⇒ 「Liisaは歌手になる。」



# 結果文の否定形

● Liisasta **ei tule** laulajaa. 「Liisaは歌手にならない。」

- ① 結果文の否定では tulee 「来る」 を否定形の ei tule 「来ない」 に変える。
- ② 否定では最後にくる名詞が分格 laulajaa になるのが原則。



# 人称代名詞とkukaの出格

## ●人称代名詞の出格

minä > minusta

sinä > sinusta

hän > hänestä

me > meistä

te > teistä

he > heistä

## ●kuka「誰」の出格

kuka > kenestä



# 結果文一練習

- ( ) 内の語を使って作文する。

「私は大臣になる」 (minä, ministeri)

「あなたは教員になるのか」 (sinä, opettaja)

「彼女は大工になる」 (hän, puuseppä)

「誰が大統領になるのか」 (kuka, presidentti)

「Leena (女性名) は医者にはならない」 (Leena, lääkäri)

「私は警察官にはならない」 (minä, poliisi)

「君は作家にはならない」 (sinä, kirjailija)

「Mika (男性名) はデザイナーにはならない」 (Mika, suunnittelija)



# 結果文—練習解答

● ( ) 内の語を使って作文する。

「私は大臣になる」 (Minusta tulee ministeri.)

「あなたは教員になるのか」 (Tuleeko sinusta opettaja?)

「彼女は大工になる」 (Hänestä tulee puuseppä.)

「誰が大統領になるのか」 (Kenestä tulee presidentti?)

「Leenaは医者にはならない」 (Leenasta ei tule lääkäriä.)

「私は警察官にはならない」 (Minusta ei tule poliisia.)

「君は作家にはならない」 (Sinusta ei tule kirjailijaa.)

「Mikaはデザイナーにはならない」 (Mikasta ei tule suunnittelijaa.)

